

ワンちゃんたちの無垢な瞳に患者さんが魅せられ笑顔に



今年2回目となるJAHAの”アニマルセラピー“の5頭のワンちゃんと飼い主さんチームが11月27日(水)午後2時から、各階ロビーと緩和病棟を巡回しました。初登場のグレート・ピレニーズのシェリーちゃん(写真左上)は45キロの圧倒的な存在感。シャンプーしたてのほわほわの毛とゆったりとした仕種で患者さんの注目を集めました。セラピードッグとして作られたオーストラリアン・

ラブラドゥードゥルのファンちゃん(写真下右)も初お目見え。患者さんたちの前でボールひろいを披露してくれ、日本では珍しい犬種だけに携帯電話で写真を撮る患者さんもいらっしゃいました。患者さんによっては子供のころに犬に咬まれた思い出から、大型犬は苦手な方もいらっしゃいます。そんな方には抱っこが大好きな小型犬のミニチュアダックスのサンちゃん(写真右)やこむぎちゃん、マルチーズのななちゃんの出番。「本当に大人しいね、こっちをちゃんと見てくれる!」「えらいねえ。家でもワンちゃん飼っているけど、この子はちっとも吠えないんだね。」「私より付添いの家内がワンちゃん来るのを楽しみにしていたんだよ。」とおっしゃった患者さんは、奥さまが来る間遠慮しながらワンちゃんを抱っこされていましたが、いつしか膝の上のななちゃんが患者さんになじんで離れがたい様子。お気に入りのワ



ンちゃんを探して階を移動された患者さんもいらっしゃいました。職場体験に来ていた中学生3人が約1時間しっかりお手伝いして、記念写真にもおさまりました。ワンちゃんと飼い主さん、クリスマス前の温かなプレゼントをありがとうございました。写真で患者さんの笑顔をお見せできないのが残念です。次回は3月を予定しております。お楽しみに。

